

茨城県国際理解教育推進協議会
会長 川俣 勝慶 殿

ワールドキャラバン国際理解教育実施報告書

学校名 日立市立山部小学校 担当教諭名 仲野 久子

「ワールドキャラバン」国際理解教育については、下記のとおり実施しましたので報告します。
記

実施日時	平成22年11月18日(木) 10:35 ~ 12:00
対象学年と人数	5年9人, 6年5人 計14人
派遣講師名と出身国	レン・ケイケン(中国) グ・ミンチョル(韓国) 横田 寿子(コーディネーター)
活動の内容	文化の紹介 民族衣装の披露 遊び 講師の方とふれあい給食 等
今回実施されたワールドキャラバンについて評価	事業に参加しての意見・感想 ・楽しい時間を過ごすことができた。 ・講師の方も、母国のことを伝えようと一生懸命で、子供たちも楽しみながら、興味・関心を高めることができた。
生徒・保護者等参加者の感想	・韓国の衣装を着られたことが、とてもうれしかったです。 ・韓国の食べ物の中で、トッというもちやビビンバなどがおいしそうだなと思いました。 ・1番先に覚えた韓国語は、「トマンナヨ」でした。 ・日本から近い韓国に行ってみたく感じました。 ・中国には、56の民族があって、レンさんは回族という民族だということ、回族は豚肉を食べてはいけないということを知り、びっくりしました。 ・鳥のはねが付いたリフティングみたいな遊びが1番気に入りました。僕は、最高4回でした。 ・手作りのチャイナドレスが、とてもかっこよかったです。 ・レンさんと給食もいっしょに食べられて、仲良くなれたことが印象に残りました。い
先生の感想	・どのような話を聞けるか、子供たち共々楽しみにしていた。講師の方二人が、プレゼンテーションしながら、わかりやすく紹介してくれたので、子供たちは、興味をもって参加することができた。子供たちは、中国や韓国について事前に調べているので、講師の方の質問に積極的に答えることができた。実際に民族衣装を着たことや外国の遊びの体験を通して、外国の生活や文化がより身近になった。

